

【ワークショップ・テーマ】

山本巖先生の臨床を語る



漢方坂東医院院長／山本巖流第三医学研究会特別顧問

坂東 正造

Souzou Bandou



漢方薬局けんこう屋／山本巖流第三医学研究会理事

松原 圭沙彦

Kazuhiko Matsubara



兵庫医科大学漢方診療センター長／和漢医薬学会理事長

山本巖流第三医学研究会副会長

中島 正光

Masamitsu Nakajima

東西両医学を総合して正確に病態を把握し、それに適合する薬能をもつ生薬を組合わせて処方を読む。よく効く漢方、再現性のある漢方を追究し続けた山本巖先生の臨床の奥義に触れる絶好の機会が実現いたしました。京都漢方研究会だから実現し得た大変貴重な機会です。

坂東正造先生は山本巖先生の愛弟子です。山本巖先生に師事した先生は何名かおられますが、坂東先生は山本巖先生の山本内科に常勤医として在籍し、単に山本先生の診療に陪席したというのではなく、坂東先生自身が患者さんを診療する中で山本先生に直接カルテの添削を受けながら「山本巖漢方」を学び修得されてきた、そういう意味では唯一無二の先生です。先生の著書は今なお大変多くの治療家に影響を与え続けています。

松原圭沙彦先生は、山本内科時代の坂東先生の同僚で、山本内科で薬剤師として調剤を担当、山本巖先生が病態と生薬の薬能の対応を追究するために、貪欲に実施された「5分15分テスト」と称される患者さんの漢方薬の試飲を担当しておられました。そのすさまじい経験は著書に結実しています。

中島正光先生は山本巖先生の師である中島随象先生の孫としてその理念を継承し、日本の漢方医薬学界において山本巖先生が提唱された「第三医学」の普及に尽力しておられます。

